

*オーガニック…有機栽培の農産物およびその加工食品のこと。

問 給食のオーガニック*化に後れるな

答 オーガニック給食の可能性を検討



光風会
恵利 いつ 議員

問 学校給食にオーガニック食材を取り入れる自治体が増えているが、全国的な動きをどう捉えているか。また、予防原則の観点から、オーガニック食材が提供できるまで心配なネオニコチノイド系農薬の使用を控えては。

答 このような動きは、使用される食材の安全性への意識の高まりの表れと認識している。今般丁A（農協）が有機栽培に取り組むと聞いている。減農薬に向かうと思われる。

問 ようやく地元JAも動き出すという思い。生産者が安心して慣行

栽培から有機栽培に移行できるような村の支援策が求められる。

答 有機農産物生産・消費体制の環境づくりや仕組みづくりを研究し情報発信していく。全国の先進事例を参考にし、これまでの村独自の支援制度を見直す。



村内小学校の楽しい給食風景

問 全国的な学校給食のオーガニック化の流れに後れを取らないために、村長の強いリーダーシップが必要。

答 「全国オーガニック給食協議会」に参加を決めた。関係者の機運醸成から始める。

問 街頭防犯カメラを設置すべき

答 主要道路と交差点に設置する



新政とうかい
おおうちのりお 大内 則夫 議員

問 街頭防犯カメラは犯罪の解決や抑止につながる。「真崎の未来を考える会」では通学路の安全点検をし、危険箇所を確認した。子どもたちや高齢者が安全で安心して暮らせるよう積極的に設置すべき。

答 現在、主要交差点や幹線道路沿いに15台設置。今年度は警察と連携しながら5台の増設を予定している。

問 選ばれるまちとしての事業展開は

答 強みを生かした施策を実施する

問 選ばれるまちにな

るために本年度もさまざまな事業が展開されるが、どの事業も時間もかかるし成果が見込めない。他自治体にはない事業を深堀し、拡充・増額して事業展開をしてはどうか。

答 昨年度から、新婚世帯を対象に転入促進の補助をして一定の成果が出た。村の持つポテンシャル・強みを生かしてハード・ソフト両面から子育て支援や教育施設、基盤整備など未来を見据えた施策を展開して選ばれるまちを目指したい。



住宅やアパートが張り付き出した勝木田・下の内沿線